

	いざという時になると、それまでの言動に反して、しり込みする気の弱いところがある。言葉づかいが乱暴である。	No.
	諸調査・観察から	治療の手だて
知識・理解	・学習内容についての理解がまだ表面的である。 ・文章化してまとめを書くのが苦手なようである。	・マンガでもまとめができることに気づかせていく。
資料の活用	・ひとつの資料については、その内容をきちんと読みとることができている。 ・作業が少し雑である。	・資料の読みとりの手順を身に覚えさせていく。 ・時間を上手に使うように仕上げるように励ましている。
考え方の傾向	・教師の質問に対しては、真剣になって考えている。めあての手想分がたがはやけていることが多い。	・個別指導の際に、追究の視点を再確認していくようにしていきたい。
関心・態度	・社会科が好きである。 ・まわりの考えを積極的に発表する。 ・見学学習に興味がある。	
ノートの活用	黒板の板書は、ていねいにノートしているが、自分の考えや、めあてに対するまとめが少ない。	友だちの発表(OHP)からのメモでもできるように少しずつ認め、励ましていく必要がある。
発表力	・手をあげて、自分の考えをよく発表する方である。	

かした個性的なノートが増えてきた。

(二) 意識調査

シミュレーションによる学習やコース別選択学習を児童は、どう受けとめているのかを自由記述によつて書かせてみた。次に示す内容は、それらを集約したものである。

- (1) コース別に分かれての学習は、はじめのうちはやりにくかったようだが、資料案内(学習の手びき)があったので、少しずつ慣れてきた。
- (2) 自分の力に合った学習コースを選べたし、自分に合ったまとめ方ができたのでよかった。
- (3) 卒論では、自分の好きな調べ学習ができたのでおもしろかった。

七、結論

(一) 児童の興味・関心に応じた指導のあり方を考える場合、単に一人一人の興味や関心を示す内容をアンケートによつて調べることも、児童の社会科学習における問題点(資料活用能力・学習意欲・読解力・考え方の傾向など)を洗い出していく方が、実際的である。

(二) 小単元指導計画の中に、コース別選択学習を取り入れていく場合、各コースの内容面・表現の仕方の面からの検討が大切である。

また、教師の方では、あらかじめ児童が調べられる資料の範囲をおさえるとともに、その分析をしておく

資料4 学習計画表の記入例

6年社会

(1) わたたちの生活と政治
(2) みんなでする政治

学習計画表

月日	学習の進展や先生に相談したいこと
1/21	ぼくはDコースをえらんだ、どうしてろう人が70才をすぎるとお金がただになるのか次からくわしくしらべてみたい。
1/24	Dコースに入って、診査が無料で受けられるのかどうしてか予想を立てる。
1/27	Dコースについての調べ学習をした。老人保険法というのを調べるのがちゅうとはんばなので、次のじかにしらべたい。
1/28	Dコースをしらべ学習をした。図書室で調べ、学習しても老人保険法というのはみづからなかった。
1/31	自分のえらんだDコースのまとめをした。老人がただで健康しんさがうけられるわけがわかった。
2/3	国民の生活と政治について予想を立てて、調べて学習に入った。
2/4	国民の生活と政治について三つの国民主義平和主義、きほん的そんなちょうについてしらべた。
2/7	国民の生活と政治について各コースのまとめをした。ぼくはDコースのまとめをした。

ことが必要である。

- (一) 追究学習では、教師が児童の変容をさせられないで待つこと。(児童の変容には個人差があり、時間がかかる) また、追究の結果としてのまとめの形には、いろいろなものがあることを、児童自身に学習の足跡をたどらせることにより、気づかせていくことが大事である。

八、今後の課題

- (二) 個別指導に役立つ、より柔軟性のあるカルテづくり。(形式にとられない・実態に即した個人カルテ)
- (三) 小単元の多様なまとめに対する評価の工夫。
- (四) 学習のねらい達成のための中心資料をどのように精選していったらよいか。
- (五) チームティーチングによる授業設計と実践のあり方の検討。

- (一) 興味・関心別選択学習における各コースの吟味。(児童の生活とどう結びつけていくか)